

ブロック塀撤去

●1700万円 小中学校の普通教室にエアコン設置

市は、夏の猛暑対応として、子ども達の教育環境の改善のため、すべての普通教室にエアコンを設置する方針を決めました。

その設計委託費として小学校1200万円、中学校500万円が盛り込まれました。

設置に向けて

Q 設置方法は。

A PFIやリースなどもあるが、早急に設置が必要のため、直接施工方式を考えている。

Q 国からの補助金は。

A 概算で9900万円ほど見込んでいる。

どのようなエアコンを設置する

Q 熱源・動力源は。

A 全体的には電気方式。勝幡小、北河田小学校は、都市ガスが通っている地域なので、ガス方式も選択肢のひとつと考

えている。

Q 規格や性能は。

A 機能は同一のもので考えているが、教室によって据え置き、天井つり、壁掛けなど、校舎や教室の状況により施工方法を考えていきたい。

これからの進め方

Q 設計の出し方は。

A 一校一校個別で作るので、4社ぐらいに分けて依頼する。

Q 発注の仕方は。

A 個別の設計ができた後、どのように組み合わせるかを検討している。

エアコン設置に至った経緯

Q なぜ、このタイミングで議会上程されたのか。

A 市長より、今年の夏の猛暑はひとつの災害であり、今の学校の教室状況は放置できないとの方

針で予算計上した。

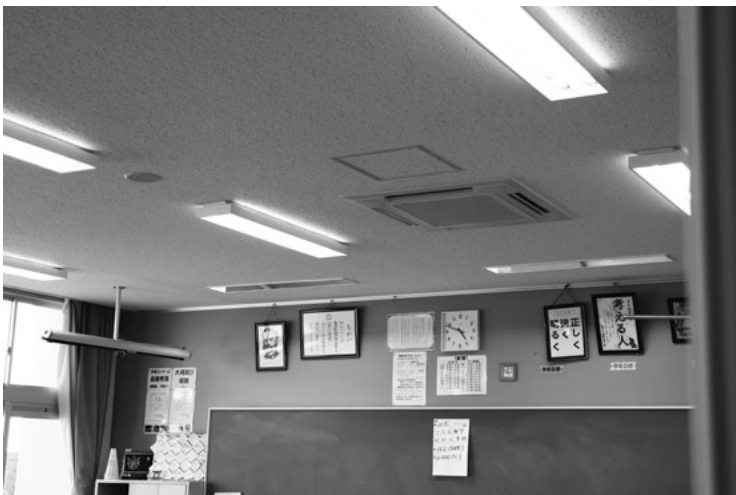
Q この夏の教育現場はどんな様子だったか。

A 熱中症対策で、授業中でも水分補給をさせたり、冷房のきいた特別教室を活用した。また、スポーツなどのクラブ活動の自粛も行った。それぞれの学校に職員が出向き、各教室において、扇風機でどこまで対応できているのかを確認した。

進め方に問題は

Q 専決処分など考えられなかったのか。

A 方針を決めて、設計費の内容を精査したところ、金額の上限もかなりあり、9月定例議会にしか間に合わなかったことと、しっかりと議会で審議をしていただく必要があると判断し、通常の補正予算として計上した。



▲天井設置型エアコンの例（佐織中）